

管理者研修 ひまわり通信

第 1 号

ひとりはみんなのために

みんなはひとりのために

発行 兵庫県高齢者生活協同組合

発行日 2007年2月16日

〒651-0085 神戸市中央区八幡通3-2-11

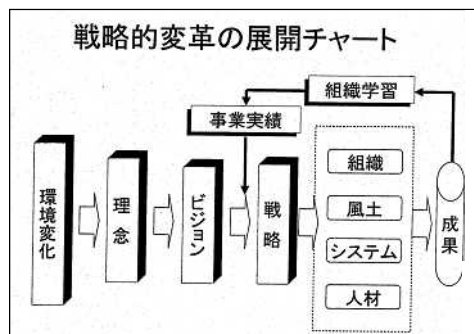
TEL (078) 200-3933

FAX (078) 252-2331

ホームページ <http://kourei-h.org/>

改革への挑戦！

魅力あふれる職場づくり、
サービスの向上を目指して



1月13日、管理者研修1回目。
高齢協の成立や理念および経営管理手法の習得の知識を学習した。また、会計に関する説明では、現場の事例を元にした説明で、ああ、そういうことだったのかと皆、真剣な面持ちで聞き入った。

質疑応答では、管理者会議とは違った悩みや不透明な部分の質問が投げかけられ、新たな課題が提起されるなど有意義な研修となった。中には時間が足らず、講師が休憩中に質問を受けるシーンも見られた。

熱意溢れる講師陣
& コーディネーター

藤田氏 山本氏
足立氏 西脇氏

研修の子
研様



研修アンケート 回答コメントの紹介

各部門ごとの収益を知りたいと思う。高齢協の理念はとてもよく理解できた。

質問の時間等の時間が確保できたかの疑問が残る場もあった。

現場ばかりで、実務を行ってきたため、経営サイドはハードルが高くのみこみがやや困難。中立な立場の職であり、悩むことが多くどちらサイドに立っていいか不明である。

歴史と設立の思いをもう少し聞きたかった。

理念と現実進行上のギャップが生じていること。会計の分析は大変大切だが、それをい

かに普段の行動に結びつけるか、その情報をいかにクイックリーに活用するかもテーマであると思う。

決算書の分析は大変参考になったが、事業所ごとの試算があればもっとよくわかった。

参加者に発言させる（指名しないと話さな

い人が多いため）機会を作ってください。

理事長のお話は参考になった。

労協誕生の歴史を入れる必要があるのではと思います。

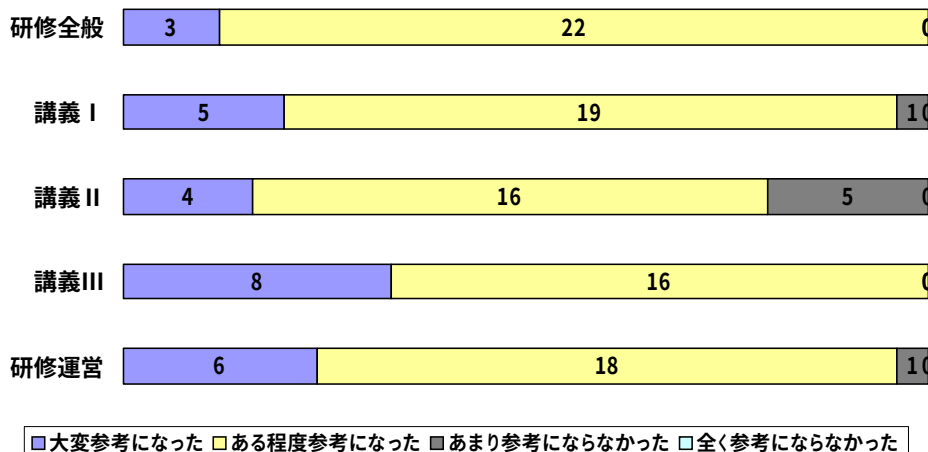
生活協同組合という考え方を、もっときちんと学習したかった。

生協という組織のあるべき姿がわかるようになりたい。

管理者と事務局の役割をもっと明らかにしてほしい。

職員採用時、事業所管理者と本部の役割分担をはっきりと指導してほしい。

第1回研修会アンケート結果



第1グループ

- 脇藺 裕子
- 藤原 志津子
- 新原 耕治
- 芦田 光恵
- 村上 広年
- 西原 共美

第2グループ

- 蘆田 恭卓
- 中川 徹
- 服部 悦子
- 小西 両蔵
- 大塚 絹子

第3グループ

- 林 有子
- 苑田 恵子
- 梶本 克子
- 山田 恵子
- 小栗 龍男
- 久保田 智万

第4グループ

- 花田 芳恵
- 柿本 助宝
- 寺尾 建
- 福地 多美子
- 高橋 雪
- 中田 智志

第5グループ

- 山本 寛明
- 内田 広子
- 松本 猶喜
- 稲垣 江里
- 前田 純徳

〇・・・グループリーダー

